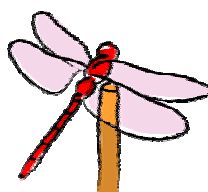


たより

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>



平成 23 年 10 月 13 日発行
伊勢市教育研究所
伊勢市小俣町元町 5 4 0 番地

研修講座の様子（参加者の声から・・・）

前号に引き続き、アンケートにお寄せいただいた声から、夏季休業中に開催した研修講座の様子をお伝えします。なお、講座の収録ビデオにつきまして、研究所 HP イントラネット内で視聴していただけるよう、準備中です。

7 月 27 日「体感しよう！スキルをみがいて授業力アップ！」

講師：民間英会話教室 吉野淳先生



- ・すぐに使える様々なゲームや、ゲームを行う際の留意点を教えていただくことができたので良かった。また、様々な場合でのケーススタディも最後に教えていただくことができ、とても良い機会だった。
- ・さすが民間の先生で子どもたちをひきつけるスキルをお持ちだなと思いました。またこのような講座を受けたいです。

7 月 28 日「聴こえていますか？子どもの心の声」

講師：大阪教育大学 上田裕美先生

- ・共感的に聞くということを頭ではわかっているが、DVD で見た子どもへの良くない対応例と同じ発言を自分もしていることがあることに気づき、恥ずかしさとともに、子ども理解や対応を見つめ直すことの必要性を感じました。
- ・子どもに対する具体的な接し方や、接する時の考え方など、よくわかりました。また普段子どもたちに接していることを振り返る良い機会になりました。今後の子どもとの接し方に活かしていきたいと思います。



8 月 5 日「ワークショップをとおして学ぶ いじめ防止プログラム」

講師：湘南 DV サポートセンター 瀧田信之先生



- ・「いじめ」と DV とのつながりを示唆していただき、さらにいじめ解決に向けての段階的な方法論とワークショップを知り、体験することができ、よかった。
- ・いじめる子ども側の心理、自尊心、距離の実験やアサーションなど、一つひとつの意味をふまえて教えていただいたので、わかりやすかった。

8月7日「保護者とうまくいく方法」

講師：KANSAI こども研究所 原坂一郎先生

- ・お話がとても面白かったです。たくさん笑わせていただき90分があったという間でした。内容もためになることばかりで、自分の保育を振り返り、改めなければならない点がいくつか思い浮かびました。今後の保育に活かしていきたいです。
- ・保育に活かせる絵かき歌あり、また、保護者との接し方、対応の仕方等、忘れがちなことに気づかせていただき、ありがとうございました。



(原坂先生からご著書「保護者とうまくいく方法」をいただきました。)

8月10日「これならできる！ICTを活用した授業づくり」

講師：放送大学 中川一史先生

- ・ICT活用について教科ごとに紹介していただき、とても参考になりました。また、グループセッションも他校での取り組みなどを交流できてよかったです。
- ・ICT活用の授業と従来の授業方法との関わりについて、自分の中ではっきりしていない部分がきちんと整理でき、良かった。



8月19日「授業に役立つICTスキルアップ講座」

講師：伊勢市情報教育研究会研究委員



- ・ICTの活用の仕方について、初歩の初歩から丁寧に教えていただき、ありがとうございました。今後授業の中でも、十分に活かせるなど実感しました。普段は何かと忙しく使い方を聞いたり、調べたりすることもできかねていました。この研修会のおかげで大変勉強になりました。ぜひぜひ来年度もこんなICTの研修を開いていただけたらうれしいです。

8月22日「教育にカウンセリングを活かそう

～人間関係を育てる『エンカウンター』を中心に～

講師：大阪青山大学 米田薫先生



- ・エンカウンターもQ-Uも、勉強しようと思って本ばかり読んでなかなか自分の中に入ってこなかったが、米田先生のお話を聞くことと、実際のエクササイズを行うことで、とてもわかりやすく感じる事ができた。もう一度今日のことを活かして、Q-Uを見直してみようと思った。

8月23日「不登校を解決するために

～教師にできること、できないこと～

講師：聖隷クリストファー大学 石川瞭子先生



- ・これまで不登校問題の研修でよく耳にした『無理しなくても大丈夫』ということが「やさしさの虐待なのだ」という言葉が強く心に残りました。
- ・「家族療法」という言葉に初めて出会い、学校と子ども（保護者）との関わりとは観点の異なる「家族との関わり」について教えていただくことができてよかった。また、不登校についても、今まで学んできた観点とは違い、「学校へ行きましょう。」と促すことの大切さも学ぶことができた。

8月24日「魅力ある算数・数学の授業をつくるコツ」

講師：筑波大学附属小学校 細水保宏先生

- ・「認めることは、価値を伝えること」、この言葉を少しでも実践化していきたいと考えています。
- ・わくわく、ドキドキの2時間余りで、あっという間に時間がたっていました。ちょっとした言葉一つで、子どもが考えることや、教師の立つ位置で子どもがみんなに向かって説明するようになるなど、基本的なことから、算数・数学を面白くするコツを教えていただきました。



(細水先生からご著書「算数のプロが教える教材づくりのコツ」をいただきました。)

8月25日「今さら聞けないシリーズ 先輩が教える

～授業スキル・学級経営の基礎基本～

講師：進修小学校 楠木宏先生



- ・経験をもとに、とても具体的なお話を聞かせていただき、ぜひ9月から実践していきたいものばかりでした。
- ・毎年楽しみにしています。来年も、楠木先生の講座をお願いします。身近な、苦労を知っている先生の話が一番身につきます。具体的な話がためになりました。

8月26日「Sean先生の英会話講座」

講師：伊勢市 ALT Sean Hael 先生

- ・多くの文や難しい内容を使わずに、英語だけで、動作などを伝えることが重要だと改めて感じました。わかりやすく伝える方法を考えるヒントもたくさんあり、あっという間の時間でした。
- ・授業ですぐ活かせる実践ばかりで、内容が充実していて、とても勉強になりました。



伊勢市教育支援センター「NEST」から

わくわく宿泊体験記

9月15、16日の2日間、南伊勢町にあるネットワークリゾートなんせいへ、「わくわく宿泊体験」に行ってきました。



1日目は、お弁当を食べた後、カヌーに挑戦しました。通級生と指導員がペアを組んで乗る事になりました。息もぴったり合って順調に進むカヌーもあれば、右へ行ったり左へ行ったりと思うように進まず迷走気味のカヌーもありました。それでも広い海を自分の力でこぎ進むという体験をみんなで楽しむ事ができました。

カヌーの後は釣りをしました。行く前から釣りをとても楽しみにしていた通級生もいましたが、今回、初めて釣りに挑戦という通級生もいました。釣りのしかけ作りを教わって、かごにえさとなるアミエビをいれ、サビキ釣りをしました。何とか準備を整え、いよいよ釣りの開始です。みんな大漁を期待して釣り糸を垂れてしばらく



待ちました。そうすると、1匹、また1匹と「つれた！」という声が聞こえてきてみんなが競争する雰囲気になり、一生懸命その時を待ちました。みんなとてもわくわくした気持ちになっていました。結果、釣れたのはアジ9匹。小さいながらもたくさんつれました。

夕食にはカレーライスとサラダを作り、釣った魚も焼いていただきました。みんなで一つひとつジャガイモの皮をむいたり、お米を研いだり、煙まみれになりながら炭をおこしたりと、普段とは違った場所でちがう作業を共にすることで、通級生同士、通級生と指導員との交流を深める事ができました。また、教室内では見られない表情や行動も多く見られ、本当に体験学習の意義を感じられる時間となりました。

夜は、天体観測を予定していましたが、あいにくの天気だったので、みんなで施設にある五右衛門風呂に仲良く入ったり、いろいろな花火をしたりして過ごしました。

2日目も朝早くから気合を入れて釣りをしました。その日も小さいながら、カイズ1匹(黒鯛の子)とイワシ2匹、アジ1匹が釣れました。

この宿泊体験を通して、他の通級生や指導員とともに楽しい体験や時間を共有できたことはとてもよい経験、思い出になったと思います。

NESTでは、今後も様々な体験活動を通して、学校復帰にむけてのエネルギーをつけさせ、学校と連携して、子どもたちを支援していきたいと思えます。